

## 市立図書館の今後について（案）

令和3年 月 日

安芸高田市教育委員会

## 1 はじめに

安芸高田市立図書館は、平成16年3月に新市が誕生して以来、各町1館・全6館体制を維持してきましたが、残念ながら多くの市民が活用している施設とは言えません。平成25年度に本市図書館の貸出冊数がピークを迎えて以来減少に転じ、図書館利用者が漸減する中で、図書館を所管する生涯学習課の組織体制と職員配置の変更や司書を中心とした人的業務委託の継続により、業務が現場任せになりがちになるとともに、家庭におけるネットサービスの充実等、社会環境の急速な変化の中にあって、時代に応じた魅力ある図書館づくりができていない状況も生じてきました。また、減少傾向にある本市の人口規模と現在の財政状況に応じた図書館運営の効率化を図る必要もあります。

このような状況を背景に、このたび「市立図書館の今後について」をとりまとめ、時代に応じた図書館機能の充実と運営の効率化を図ることとします。

## 2 現状と課題

## (1) 現状

- ・教育委員会事務局生涯学習課が所管し、生涯学習課長が図書館長を兼務。
- ・生涯学習課担当職員が全体の関係予算の管理、図書資料の購入事務等を行う。
- ・市内6館すべての奉仕業務（窓口業務）、資料の管理業務、蔵書点検業務等の人的業務を公益財団法人に委託している。委託先の業務従事者の構成は次のとおり。

責任者1名	週4日勤務（勤務時間 7時間45分／1日）	司書資格無
副責任者1名	週5日勤務（勤務時間 7時間45分／1日）	司書資格有
司書7名	週5日勤務（勤務時間 7時間45分／1日）	司書資格有
司書補4名	週5日勤務（勤務時間 7時間45分／1日）	司書資格無
司書補2名	週2日勤務（勤務時間 7時間45分／1日）	司書資格無

計 15名 週 527時間

- ・中央図書館の開館時間等

開館時間 平日 10:00～19:00 土日 9:00～18:00

休館日 毎週月曜・祝日・毎月第2金曜・年末年始・特別整理期間

祝日が月曜に重なった場合は、その翌日

職員配置 平日は4人～6人 土・日は5人～6人

- ・八千代図書館、美土里図書館、高宮図書館、甲田図書館、向原図書館（以下「その他図書館」という。）の開館時間等

開館時間 平日 10:00～18:00 土日 9:00～17:00  
 休館日 中央図書館に同じ  
 職員配置 平日土・日ともに1人

・中央図書館の勤務体制

【平日】

早出 9:30～18:15 (休憩 12:00～13:00)  
 遅出 10:30～19:15 (休憩 13:00～14:00)

【土日】

早出 8:30～17:15 (休憩 12:00～13:00)  
 遅出 9:30～18:15 (休憩 13:00～14:00)

・その他図書館の勤務体制

【平日】

9:30～18:15 (休憩 13:00～14:00)

【土日】

8:30～17:15 (休憩 13:00～14:00)

※美土里図書館のみ休憩時間 11:45～12:45

・資料数、利用状況、実施事業等については「図書館要覧」を参照のこと。

■表1 年間貸出冊数と年間業務委託料等の推移

区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
業務委託料 (単位：千円)	40,936	44,635	43,590	44,514	44,514	45,501	46,688	48,609
貸出冊数 (6館計)	227,529	216,878	212,572	207,013	202,583	195,959	194,837	179,167
貸出1冊当た りの業務委託 料(単位：円)	179.9	205.8	205.1	215.0	219.7	232.2	239.6	271.3

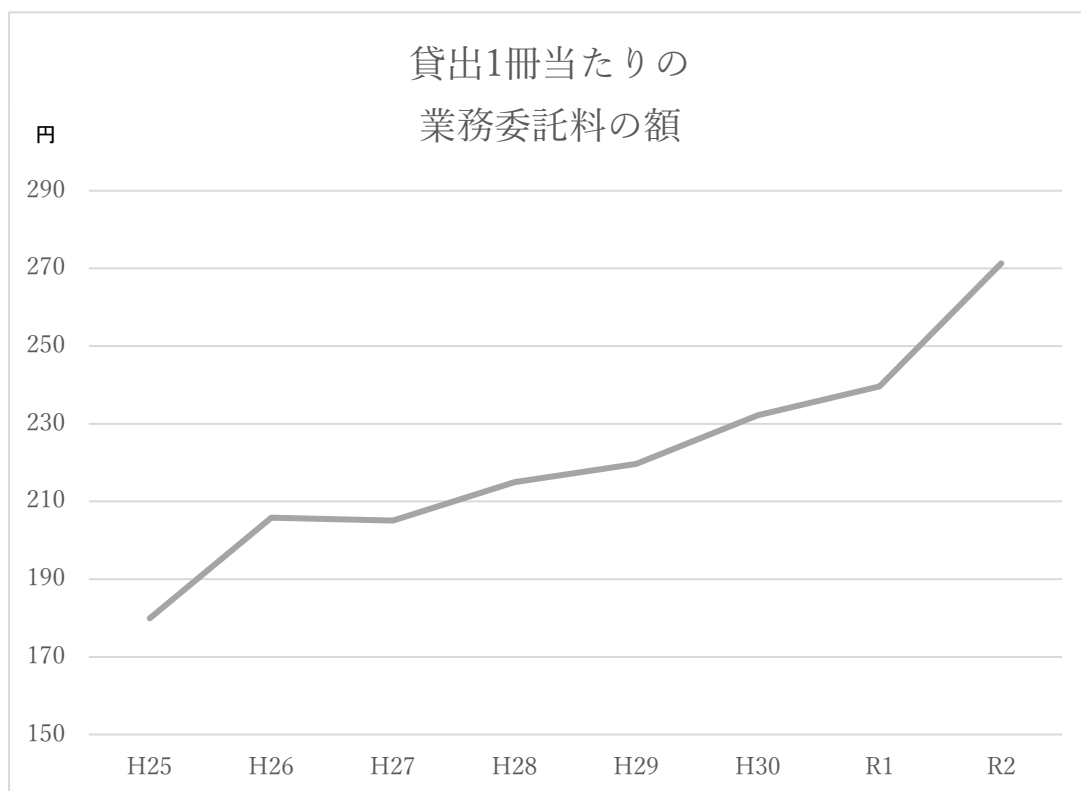
○H25が本市図書館の貸出冊数のピーク。以後、貸出冊数は減少傾向に転じ、逆に業務委託料は増加し続け、H25・R2比で7,673千円、貸出1冊当たり業務委託料は91.4円増加した。

■表2 業務委託料、消費税率、広島県最低賃金の推移と割合（H25を100とする）

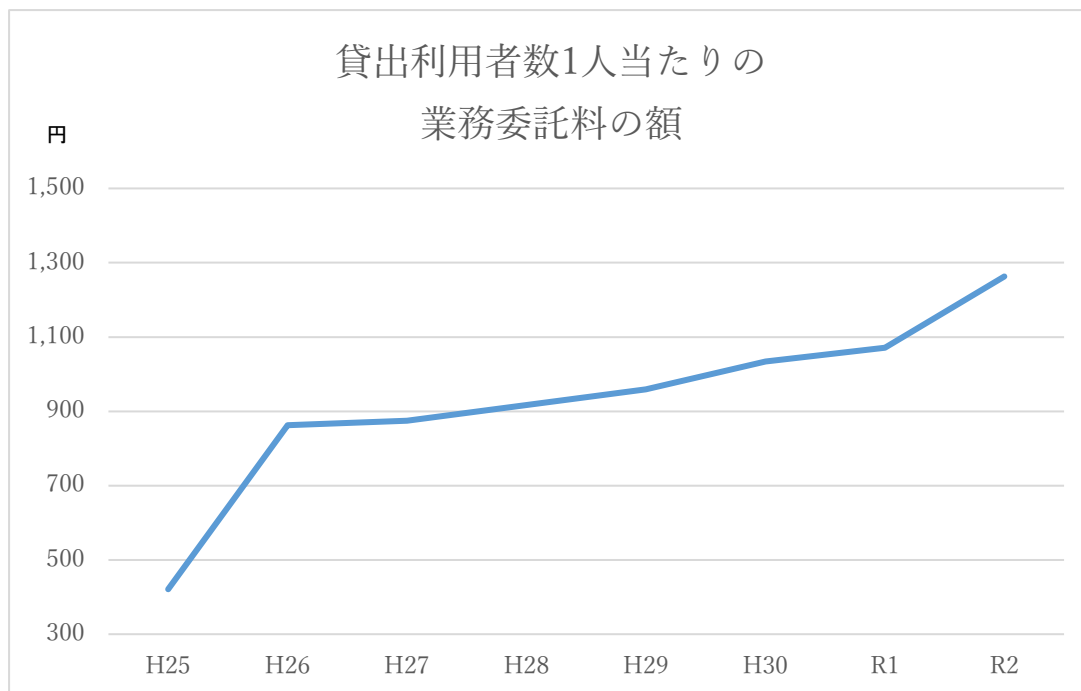
区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
業務委託料 (単位：千円)	40,936	44,635	43,590	44,514	44,514	45,501	46,688	48,609
割 合	100	109	106	109	109	111	114	119
消費税率 (単位：%)	5	5	5	8	8	8	10	10
割 合	100	100	100	160	160	160	200	200
広島県 最低賃金 (単位：円)	733	750	769	793	818	844	871	871
割 合	100	102	105	108	112	115	119	119

○消費税率、広島県最低賃金と同様に業務委託料も増加している。

■グラフ1 貸出1冊当たりの業務委託料の額



■グラフ2 貸出利用者数1人当たりの業務委託料の額



区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
貸出利用者数 (単位:人)	56,945	51,724	49,793	48,556	46,397	44,005	43,580	38,495
利用者1人当 たり業務委託 料 (円)	421	863	875	917	959	1,034	1,071	1,263

■表3 住民基本台帳人口に対する図書館を利用した人数の割合

区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
住民基本 台帳人口 (単位:人)	31,257	30,800	30,368	29,944	29,500	28,989	28,659	28,290
図書館を 利用した人数 (人)	5,274	3,709	5,098	4,823	4,668	4,384	4,251	3,481
割 合 (単位:%)	16.9	12.0	16.8	16.1	15.8	15.1	14.8	12.3

※「住民基本台帳人口」は4月1日時点、「図書館を利用した人数」は登録者のうち貸出を利用した実人数。

○貸出冊数がピークのH25から利用した人数及び割合は漸減している（R1の3月からR2は新型コロナウイルス感染症予防対策による施設利用制限の影響がある。）。

■表4 各図書館の状況 (H25-R1 貸出冊数比較等)

区 分	H25 年間 貸出冊数	R1 年間 貸出冊数	増 減	R1 人件費 相当額	R1 貸出1冊 当たり人件費
中央図書館	121,184 冊	89,984 冊	▲25.7%	23,932 千円	266 円
八千代図書館	13,167 冊	15,806 冊	+20.0%	3,778 千円	239 円
美土里図書館	19,696 冊	14,554 冊	▲26.1%	3,778 千円	260 円
高宮図書館	25,140 冊	20,400 冊	▲18.9%	3,778 千円	185 円
甲田図書館	28,234 冊	30,813 冊	+9.1%	3,778 千円	123 円
向原図書館	20,108 冊	23,280 冊	+15.8%	3,778 千円	162 円

○貸出1冊当たり人件費は中央・八千代・美土里が高く、高宮・甲田・向原が低い。

■表5 入館者数、貸出利用者数の比較 (H25-R1)

区 分	H25 年間 入館者数	R1 年間 入館者数	増 減	H25 年間 貸出利用者数	R1 年間 貸出利用者数	増 減
中央図書館	110,361 人	79,684 人	▲27.8%	27,477 人	20,504 人	▲25.4%
八千代図書館	6,026 人	6,232 人	+3.4%	3,509 人	3,844 人	+9.5%
美土里図書館	17,347 人	14,272 人	▲17.7%	8,058 人	3,403 人	▲57.8%
高宮図書館	33,903 人	22,681 人	▲33.1%	6,399 人	4,724 人	▲26.2%
甲田図書館	36,269 人	27,996 人	▲22.8%	6,639 人	6,174 人	▲7.0%
向原図書館	15,627 人	15,334 人	▲1.9%	4,863 人	4,931 人	+1.4%

○八千代図書館のみ入館者数、貸出利用者数ともに増加した (R1.9.1 に移転)。

○美土里図書館の貸出利用者数が大幅に減っている。

■表6 図書館時間帯別・平日1日当たり平均貸出冊数 (R1)

区 分	10時～	11時～	12時～	13時～	14時～	15時～	16時～	17時～	18時～
中 央	8.5	8.9	7.8	5.6	6.5	6.7	8.7	<b>11.0</b>	8.7
八千代	1.7	1.7	1.6	0.1	1.3	2.0	2.0	<b>3.0</b>	—
美土里	<b>8.0</b>	1.6	1.5	2.7	1.1	1.8	1.4	1.0	—
高 宮	2.3	2.3	2.1	0.3	2.4	2.6	2.7	<b>3.3</b>	—
甲 田	2.9	2.8	2.4	0.3	2.8	3.0	<b>6.3</b>	5.3	—
向 原	2.3	2.5	1.8	0.7	2.2	2.2	2.7	<b>4.9</b>	—

■表7 図書館時間帯別・平日1日当たり平均利用人数 (R1)

区分	10時～	11時～	12時～	13時～	14時～	15時～	16時～	17時～	18時～
中央	2.1	2.1	2.0	1.4	1.6	1.7	1.9	<b>2.5</b>	2.2
八千代	0.5	0.5	0.4	0.0	0.4	0.5	0.5	<b>0.8</b>	—
美土里	<b>1.6</b>	0.3	0.4	0.5	0.3	0.4	0.5	0.2	—
高宮	0.6	0.5	0.4	0.1	0.5	0.6	0.6	<b>0.7</b>	—
甲田	0.6	0.6	0.5	0.1	0.6	0.7	<b>1.1</b>	1.0	—
向原	0.5	0.6	0.4	0.1	0.5	0.5	0.6	<b>1.1</b>	—

○中央図書館は17時～18時が最も利用が多い。

○その他の館（美土里図書館を除く）の利用のピークは16時～18時。

○美土里図書館は小学校図書室の色合いが濃く、10時～11時の利用が多い。

○美土里図書館を除くその他図書館は13:00～14:00の間、司書の昼休憩時間となるため、その時間帯は貸出冊数が少ない（美土里図書館は11:45～12:45）。

■表8 図書館時間帯別・土日1日当たり平均貸出冊数 (R1)

区分	9時～	10時～	11時～	12時～	13時～	14時～	15時～	16時～	17時～
中央	12.0	26.6	<b>28.2</b>	20.0	18.9	26.1	27.6	25.9	25.9
八千代	2.1	5.2	5.1	4.3	0.7	4.8	6.1	<b>9.2</b>	—
美土里	0.8	<b>3.8</b>	2.3	0.7	1.5	1.8	2.1	1.6	—
高宮	3.5	8.4	10.4	5.8	2.0	<b>10.9</b>	8.0	9.1	—
甲田	4.5	11.0	<b>12.5</b>	7.2	1.3	11.3	10.0	10.6	—
向原	5.2	9.1	8.8	5.9	0.7	8.7	7.9	<b>9.5</b>	—

■表9 図書館時間帯別・土日1日当たり平均利用人数 (R1)

区分	9時～	10時～	11時～	12時～	13時～	14時～	15時～	16時～	17時～
中央	2.8	<b>6.0</b>	5.8	3.9	4.1	5.2	5.7	5.3	5.2
八千代	0.5	1.2	1.0	0.9	0.2	1.1	1.3	<b>1.9</b>	—
美土里	0.2	<b>0.8</b>	0.6	0.2	0.4	0.4	0.5	0.5	—
高宮	0.8	1.8	2.0	1.2	0.5	<b>2.1</b>	1.5	1.9	—
甲田	1.0	2.1	<b>2.5</b>	1.5	0.3	2.2	2.0	2.2	—
向原	1.0	1.7	1.7	1.1	0.2	1.6	1.5	<b>1.8</b>	—

○土日の利用のピークは各館で異なっている。

■表 10 図書館司書 1 人当たり貸出冊数（1 日当たり）・利用人数（1 日当たり）（R1）

（中央図書館は平日 3 人・土日 3.5 人、その他の館は 1 人で計算）

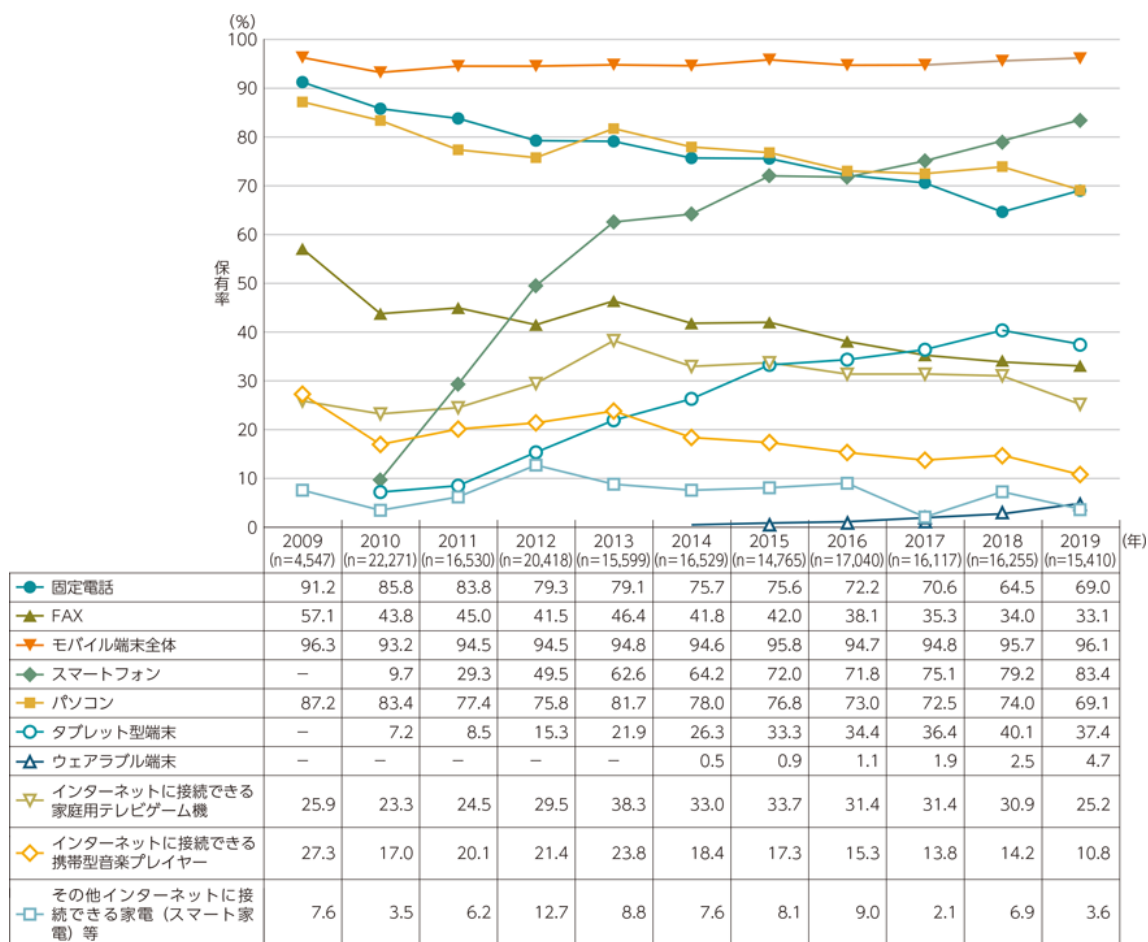
単位：冊

単位：人

区 分	平日	土日	区 分	平日	土日
中 央	24.2	60.4	中 央	<b>5.8</b>	12.6
八千代	13.4	37.5	八千代	3.6	8.1
美土里	19.1	14.6	美土里	4.2	3.6
高 宮	18.0	58.1	高 宮	4.0	11.8
甲 田	<b>25.8</b>	<b>68.4</b>	甲 田	5.2	<b>13.8</b>
向 原	19.3	55.8	向 原	4.3	10.6

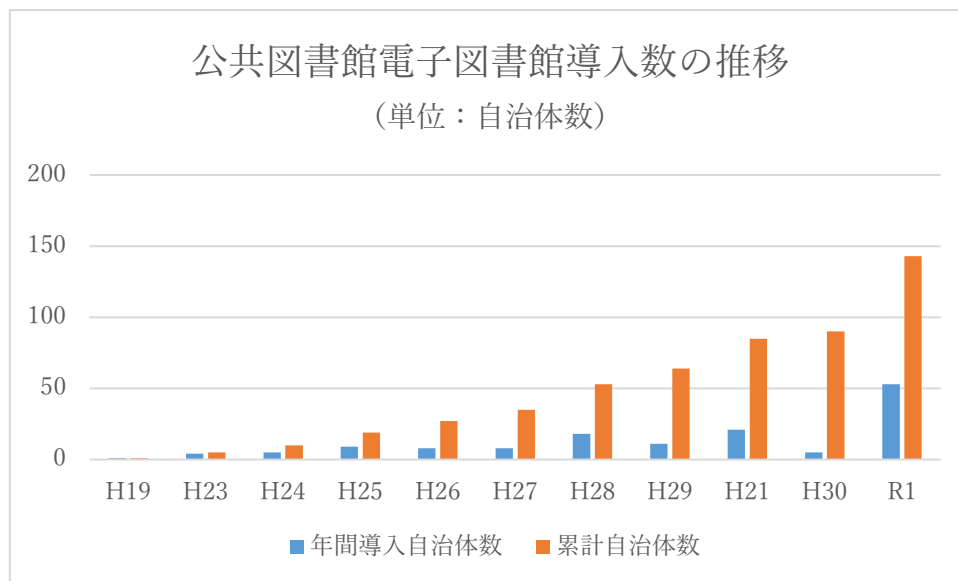
○貸出冊数は平日、土日ともに甲田図書館が最も多く、利用人数は平日が中央図書館、土日は甲田図書館が最も多い。

■グラフ 3 情報通信機器の保有状況（世帯） 【総務省のホームページから】



○特にスマートフォン、タブレット型端末の保有割合の伸びが著しい。

■グラフ4 公共図書館電子図書館導入数の推移【一般社団法人電子出版制作・流通協議会のデータから】



○電子図書館を導入する公共図書館は増加傾向にある。

■表11 (参考) 図書館所在の文化センターの利用者数の推移

単位：人

区分	H28	H29	H30	R1	R2
市民文化センター	96,381	87,332	79,337	65,092	39,973
八千代フォルテ	5,514	6,381	7,050	5,790	2,626
美土里まなび（下段は一般利用者数）	13,304	14,141	12,228	10,740	5,096
	5,866	6,071	6,762	6,546	1,834
高宮田園パラッツォ	13,240	11,791	10,673	6,500	3,057
甲田ミュージズ	18,472	20,238	20,108	21,281	9,013
向原みらい	32,006	33,772	40,801	26,884	11,721

○美土里まなびは美土里小学校との共用のため、利用の約半数は小学校利用。

○R1の3月からR2は新型コロナウイルス感染症予防対策による施設利用制限の影響があり大幅に減少している。



## ■参考統計

### (1) 文化庁「国語に関する世論調査」（調査対象：全国 16 歳以上の男女）

設問「1 か月に大体何冊くらい本を読むか」

回答「1 か月に 1 冊も読まない」 H20 46.1%、H25 47.5%、H30 47.3%

設問「読書量は以前に比べて減っているか、それとも増えているか」

回答「読書量は減っている」 H20 64.6%、H25 65.1%、H30 67.3%

### (2) 内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」

（調査対象：低年齢ー0 歳から満 9 歳までの子供 3,000 人、青少年ー満 10 歳から満 17 歳の青少年 5,000 人）

調査内容 ネットでよく利用する内容

調査結果 小学生は、ゲーム 81.7%、動画視聴 72.0%が上位、電子書籍は 4.6%

中学生は、動画視聴 84.3%、ゲーム 76.4%、コミュニケーション 75.3%が上位、電子書籍は 15.9%

高校生は、コミュニケーション（90.1%）動画視聴（87.8%）音楽視聴（84.3%）が上位

電子書籍は 24.3%

## (2) 課題

- 多くの市民は図書館への興味関心が薄く（「表 3」参照）、利用していない実態があるため、特に中央図書館の機能充実を図るとともに、市民の憩い・交流の場とする必要がある。
- その他図書館は 1 人勤務のため、昼休憩時間は基本的に司書不在となり、利用者の利便性が低下している。
- 生涯学習課と図書館が一体となって図書館運営に取り組むことのできる組織体制とする必要がある。
- 図書館運営に係る経費の増加傾向、また公共施設等総合管理計画に基づく公共施設延べ床面積の削減の観点から運営の効率化、将来的には図書館の統廃合を進める必要がある。
- 中央図書館の司書 1 人当たりの貸出冊数・利用人数が、高宮・甲田・向原図書館と比較してさほど高くない数値となっている。その他図書館は施設管理や清掃等を含め全て 1 人で対応していることを勘案すれば、複数の司書で対応している中央図書館は仕事量に対して人数が多いと考えられる（「表 10」参照）。
- 「国語に関する世論調査」結果を見ると読書量にさほど変化は見られないが、本市の図書館の貸出冊数は少なからず減少している（H25、R1 比較で▲14.4%）（「表 1」参照）。
- 内閣府の調査結果を見ると、多くの青少年がネットを利用して動画・音楽視聴、ゲーム等を楽しんでおり、割合は低いものの年齢が上がるにつれて電子書籍の利用率も多くなって

いる。しかしながら本市は電子書籍の導入に至っていない。

### 3 今後の方策について

#### (1) 運営の効率化

##### ① 現在の一部業務委託による運営を継続する。

現在、図書資料の選書、貸出返却業務、レファレンス等の司書業務を委託している。委託先の司書等はフルタイムの週 38 時間 45 分勤務、週 5 日勤務であり、これを市が直接雇用すると週 30 時間勤務となり勤務効率が悪くなることから、人事労務管理等を要しない現在の業務委託を継続することが妥当と考える。

ただし、運営の効率化はすべての公共施設の課題であり、次項により業務委託料の縮減を図る。

##### ② 開館時間を次のとおり短縮する。

《変更前》

図書館名	火曜日～金曜日	土曜日、日曜日
中央図書館	10:00～19:00	9:00～18:00
八千代図書館 美土里図書館 高宮図書館 甲田図書館 向原図書館	10:00～18:00	9:00～17:00

《変更後》

図書館名	火曜日～金曜日	土曜日、日曜日
中央図書館 甲田図書館 向原図書館	10:00～18:00	9:00～17:00
八千代図書館 美土里図書館 高宮図書館	11:00～17:30	10:00～16:30

○中央図書館の職員勤務時間は現在、平日 9:30～19:15 (9 時間 45 分)、土日 8:30～18:15 (9 時間 45 分) で職員 1 人の勤務時間 (休憩 1 時間を加えて 8 時間 45 分) を超えているため、早出勤務者、遅出勤務者により対応している。この早出遅出勤務を解消するため、平日、土日ともに開館時間を 1 時間短縮し勤務の効率化を図る。

○八千代図書館、美土里図書館、高宮図書館の職員勤務時間は現在、平日 9:30～18:15 (8 時間 45 分)、土日 8:30～17:15 (8 時間 45 分) でフルタイム職員 1 人により対応している。開館時間を平日の開館時間を 11:00～17:30 (職員勤務時間 10:45～17:45)、土日の開館時間を 10:00～16:30 (職員勤務時間 9:45～16:45) に変更し、短時間任用職員での対応とすることにより勤務の効率化を図る。なお、将来的には文化センターとともに図書館統廃合の検討も必要とな

ることから、これらの図書館の選定については、現在の図書館・文化センターの状況から総合的に判断した。

－上記変更による効果－

現在の体制 責任者 1 人（週 31h）、副責任者 1 人（週 38.75h）  
司書 7 人（週 38.75h）、司書補 4 人（週 38.75h）  
司書補 2 人（週 15.5h） 計 15 人を

司書 6 人（週 38.75h）、司書補 7 人（週 30h） 計 13 人で想定

○効果額 約 6,000 千円の減額（概算）

③ 各文化センター館長が副図書館長を兼務し、図書館長を補佐する。

現在、図書館長を生涯学習課長が兼務し、生涯学習課の職員が図書館事務を担当している。このため、現場との意識の乖離が進み、図書館長を中心とした機動的な図書館運営が出来ていない現状がある。よって、より現場に近い文化センター館長が副図書館長を兼務し、図書館長（生涯学習課長）を補佐することにより、より現場に即した図書館運営を目指す。

④ 各文化センター配置の職員が図書館業務を兼務する。

副図書館長を兼務する文化センター館長の指示により、文化センター職員も関係の事務や簡易な窓口業務を兼務する。このことにより、その他図書館の昼休憩時間を文化センター職員がカバーし、利用者の利便性の向上を図ることができる。

(2) 時代に応じた図書館機能の充実

① 市民の憩いの場として多くの市民に親しまれるよう、中央図書館をリニューアルする。

単に図書の貸出・返却、新聞等の閲覧だけではなく、休憩、学習、家族・友人との待ち合わせ場所として、個人利用者が図書館内でリラックスして時間を過ごすことが出来るよう館内窓側のカウンター席を可能な限り増設する（カウンター席では飲食可とすることも検討する）。

また、普段図書館に興味関心がない市民にも足を運んでもらえるよう、中央図書館のみならず、その他図書館にあっても、隣接するロビー等のスペースに、仲間が集いリラックスした時間を過ごすことのできるコーナーやカフェなどを設け、市民に憩いの場を提供する。



② 子育て世代が気兼ねなく図書館を利用できるよう「(仮称) キッズタイム」を設ける。

○現在の中央図書館のキッズスペース(「えほんのくに」)は高さの低い書棚等で分けられており、乳幼児の保護者は子供の声が周りの迷惑になるのではとの思いから利用しにくい状況がある。よって、保護者が一般利用者に気兼ねすることなく子供とともに自由に図書館を利用できる時間帯を設け、子育て世代が図書館を通じて交流できる場を創出する。

③ 市民の関心がある公開講座等を企画実施し、二次的な図書館活用を促す。

文化センター職員が図書館業務を兼務することにより、文化センターと図書館共催で市民の関心が高いと思われる事柄をテーマとした公開講座を実施したり、首長部局や関係機関と連携してイベントを開催するなど、「チャレンジする図書館」を目指す。これらの講座・イベント等の関連図書を参加者に紹介することにより、二次的な図書館活用を促す。

④ 電子図書館を導入し「いつでも、どこでも」図書館の利用を可能にする。

電子図書館を導入する公共図書館は増加傾向にあるが(「グラフ3」参照)、限られた予算の中で紙媒体の図書と電子図書の両方を充実させることには限界がある。よって、教育委員会のすすめるGIGAスクール構想を推進する意味でも、当初は対象を市内小・中学校に特化し、児童生徒の電子図書のリクエスト本にゆえたり、教職員が授業で使用する資史料や副教材として使用する図書等を購入する。電子図書館の強みは学校ごとに本をそろえる必要がなく共有できるので、効率的に蔵書の充実を図ることができる。

ネット社会に適応した児童生徒がまず電子図書館を学校や家庭で活用し、ニーズが高まれば一般利用への拡張を検討することで段階的に電子図書館の充実を図る。

#### 4 おわりに

今年度、図書館内の Wi-Fi 環境の改善や試験的に館内で BGM を流す試み、地域おこし協力隊員の活動を紹介する特設展示を企画するなど、出来ることから「魅力ある図書館づくり」を模索してきました。また、この「市立図書館の今後について」を取りまとめるにあたり社会教育委員の会議において委員の皆様から多くの提案をいただきました。提案全てを網羅することは出来ていませんが、貴重なアイデアとして、今後も実施可能なことから取組んでいきたいと思えます。